

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童サービスセンター（緑が丘）	公表日	2025年12月25日			
評価項目	チェック項目	はい	いいえ	実施している点	確認が困難な点	
環境・体制	1 利用者が発達障害等のニーズとの関係で適切であるか。	2				
	2 利用者がこどもの状態等に応じて、職員が配慮は適切であるか。	2				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された空間になっているか。また、事業所の設備は、活動の開始に広く、パリアフリー化や視覚的等、障がい者の配慮がなされているか。	2				
	4 生活空間は、清潔で、心もとよく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2				
	5 必要に応じて、こどもが個別の活動や時間を確保することが認められる環境になっているか。	2				
施設・設備	6 事業所の安全を確保するためのPCC（ワークシート）（設備点検と巡回記録）に、広く職員が活用しているか。	6	1			
	7 設備点検記録簿により、設備点検の状況を把握する機会を設けており、その結果を職員に伝えているか。	2				
	8 職員が設備等を把握する機会を設けており、その結果を職員に伝えているか。	2				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を職員に伝えているか。	2	5			
	10 職員の業務の向上を図るために、研修を実施する機会や法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	2				
	適切な支援	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	2			
		12 このことに関してアセスメントを適切に行い、こどもの発達特性のニーズや状態を把握し、これらに基づき、支援プログラムを作成しているか。	2			
		13 支援プログラムを作成する際には、発達障害支援管理責任者だけでなく、こどもの発達特性や状態を把握するために、こどもの最良の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
		14 支援プログラムが作成された後、計画に沿った支援が行われているか。	2			
		15 こどもの個別の状況を把握し、適切な支援プログラムを用いたフォローアップのアセスメントや、日々の活動状況や状態に基づいたフォローアップのアセスメントを実施する機会が確保されているか。	2			
16 支援プログラムには、支援プログラム（ガイドライン）の「支援プログラム（ガイドライン）の目的（本事業）」「目的（本事業）」「目的（本事業）」「目的（本事業）」の4つが盛り込まれており、こどもの支援に必要な支援が適切に設定され、その上で、適切な支援が実施されているか。		2				
17 支援プログラムの改善をチームで行っているか。		2				
18 支援プログラムが変更しないよう工夫しているか。		2				
19 こどもの状態に応じて、個別の支援と集団活動とを適切に行い、支援プログラムを作成し、実施が行われているか。		2				
20 支援プログラムには個別の支援が必要に応じて、その目的や支援の内容や実施方法について検討し、チームで連携して実施を行っているか。		2				
21 支援プログラムには、職員間で役割分担があり、その目的や支援の内容の役割分担が、互いに協力して実施されているか。		2				
22 日々の支援に際しては、支援の状況とこどもの状態、支援の状況・改善について検討しているか。		2				
23 定期的にモニタリングを行い、支援プログラム（ガイドライン）の改善を検討し、必要に応じて修正を行っているか。		2				
24 支援プログラム（ガイドライン）の4つの（本事業）を複数組み合わせて実施しているか。		2				
25 こどもが個別の支援を受けるような支援が実施されている等、自己決定を促すような支援が実施されているか。		2				
関係機関との連携		26 発達障害支援事業所のサービス提供計画や個別支援計画との関係に、そのこどもの状況やニーズが適切に反映されているか。	2			
		27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っているか。	6	1		
		28 学校との関係性（特別支援、行事や交流の機会、こどもの学習状況や活動状況）を把握し、必要に応じて、関係機関との連携を強化しているか。	2			
	29 関係機関に利用している施設や設備、認定こども園、発達障害支援事業所等との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	30 学校を卒業し、支援プログラム（ガイドライン）が終了するまで、それまでの支援内容の継続を提供する等しているか。	6	1			
	31 地域の関係機関や関係機関との連携を、必要に応じてスーパーバイザーや職員や関係機関と連携して実施しているか。	4	3			
	32 支援プログラム（ガイドライン）の目的や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	2			
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2			
	34 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。こどもの発達特性や状態等について関係機関と連携しているか。	2				
	35 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
関係機関との連携	36 連携関係、支援プログラム、関係機関等について丁寧な説明を行っているか。	2				
	37 支援プログラム（ガイドライン）を作成する際には、こどもや関係機関の意見や要望、こどもの発達特性や状態を把握し、必要に応じてスーパーバイザーや職員や関係機関と連携して実施しているか。	2				
	38 「支援プログラム（ガイドライン）」を正しく活用する関係機関を行い、関係機関から支援プログラム（ガイドライン）の改善を促しているか。	2				
	39 関係機関からの支援を受ける機会が適切に確保されているか。必要に応じて関係機関と連携しているか。	2				
	40 関係機関の活動を支援することや、関係機関等と連携することにより、関係機関等と連携して活動する機会が確保されているか。また、必要に応じて関係機関と連携して活動しているか。	2				
	41 こどもや関係機関との関係について、関係機関等と連携することや、関係機関等と連携して活動する機会が確保されているか。	2				
	42 関係機関等と連携して活動することや、関係機関等と連携して活動することにより、関係機関等と連携して活動する機会が確保されているか。	2				
	43 関係機関との関係に十分留意しているか。	2				
	44 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	45 関係機関の活動に地域住民を協賛する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2	5			
関係機関との連携	46 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	47 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	48 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	49 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	50 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	51 こどもの発達特性や状態に応じて、関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対応について検討しているか。	2				
	53 関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				
	54 こどもや関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。関係機関との関係や連携が適切に保たれているか。	2				